

共同テーブル1.18 第8回シンポ

2023年10月のハマスによるロケット弾攻撃、イスラエル軍による報復的なガザ攻撃により、膨大な生命が失われ、人々の暮らしが破壊されました。

世界中の平和を求める願いにもかかわらず、パレスチナ／イスラエルは紛争と破壊の歴史を積み上げてきました。

「天井のない監獄」と呼ばれるガザの悲劇は、なぜ、どのようにして作られてきたのでしょうか。解決困難な矛盾をガザに押し付けた国際社会の責任を問い直し、私たちがなすべきことを共に考えましょう。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2024年 **1月18日** (木) 14時～17時
(13時30分開場)

会場 衆議院第一議員会館・B1・大会議室

主催 共同テーブル

プログラム

- ▶ 総合司会 瀨瀬 厚 (山口大学名誉教授)
- ▶ 主催者挨拶 佐高 信 (評論家)

パネリスト&テーマ

- ▶ 小田切 拓 (ジャーナリスト)
「ガザ問題の表層と深層—なぜ、いまガザ攻撃なのか」
- ▶ 羽場 久美子 (青山学院大学名誉教授)
「国際政治から見るパレスチナ・イスラエル問題
—欧米のイスラエル建国の原罪」
- ▶ 前田 朗 (朝鮮大学校講師)
「ジェノサイドに抗する平和権の地平
—国際法の到達点と限界」

- ・休憩
- ・質疑応答
- ・司会まとめ

- ▶ 閉会挨拶 杉浦ひとみ (弁護士)

パネリストのプロフィール

小田切拓：ジャーナリスト。テレビ番組ディレクターを経てフリーに。パレスチナ訪問は70回を超える。共訳書にサラ・ロイ『ホロコस्तからガザへ』（青土社）。最新論稿は「イスラエルの漏洩文書が示すパレスチナ人強制放逐計画：『避難』は民族浄化の一段階」『週刊金曜日』11月24日号（2023年）。

羽場久美子：青山学院大学名誉教授、世界国際関係学会副会長・アジア太平洋会長。著書に『移民・難民・マイノリティ—欧州ポピュリズムの根源』『ヨーロッパの分断と統合』『拡大ヨーロッパの挑戦—グローバル・パワーとしてのEU』『グローバル時代のアジア地域統合』『グローバルリゼーションと欧州拡大』等。

前田 朗：朝鮮大学校法律学科講師。日本民主法律家協会理事、国際人権活動日本委員会運営委員。著書に『戦争犯罪論』『ジェノサイド論』『軍隊のない国家』『旅する平和学』『憲法9条再入門』『ヘイト・スピーチ法研究要綱』



小田切 拓



羽場久美子



前田 朗

なぜ、いまガザ攻撃なのか
—世界史におけるパレスチナ／イスラエル問題

●申し込み先

多くの参加者が見込まれます。定員（350名）になり次第、申し込みを締め切りますので、至急、下記のメールアドレスまで、参加申し込みをお願いいたします。

E-mail : e43k12y@yahoo.co.jp

共同テーブル連絡先： 藤田高景 090-8808-5000 / 石河康国 090-6044-5729

「新しい戦前にさせない」共同テーブル・アピール

暮らし(いのちき)は武器で守れない

暮らしを大分では(いのちき)と呼ぶ。いのちを連想させる味わい深い方言である。政府は憲法9条を捨てて軍備拡大に踏み出そうとしているが、それは生命を削り、暮らしを壊す道である。暮らしと軍拡は両立しない。戦火の消えないアフガニスタンで、中村哲さんは井戸を掘り、暮らしを建て直して平和を築こうとした。憲法9条を持つ日本の中村哲さんはそれまでフリーパスでアフガンを歩くことができた。しかし、イラクへの自衛隊派遣が、その平和のパスポートを奪う。だから、哲さんは国会で「自衛隊派遣は有害無益」と訴えた。軍隊が国民を守らないことは旧満州や沖縄の例で明らかである。

軍備に頼らない平和を求めるために、私たちは「安保三文書」を徹底批判する。暮らし(いのちき)か、軍拡か。三橋敏雄という俳人は「過ちは繰り返します秋の暮」と詠んだが、私たちは愚かな軍拡の道を選ばない。

2023年春

共同テーブル発起人

浅井基文(元広島平和研究所所長・政治学者) 安積遊歩(ピアカウンセラー) 雨宮処凛(作家・活動家)
植野妙実子(中央大学教授・憲法学) 上原公子(元国立市長) 大内秀明(東北大学名誉教授) 大口昭彦(弁護士・救援連絡センター運営委員) 海渡雄一(弁護士) 鎌倉孝夫(埼玉大学名誉教授) 鎌田 慧(ルポライター) 金城 実(彫刻家) 瀧 厚(山口大名誉教授・歴史学者) 古今亭菊千代(落語家)
佐高 信(評論家) 清水雅彦(日体大教授・憲法学) 白石 孝(NPO 法人官製ワーキングプア研究会理事長)
杉浦ひとみ(弁護士) 竹信三恵子(和光大名誉教授・ジャーナリスト) 田中優子(前法政大学総長)
鳥井一平(全統一労働組合・中小労組政策ネットワーク) 古田兼裕(弁護士) 前田 朗(朝鮮大学校講師)
宮子あずさ(随筆家) 室井佑月(小説家・タレント) 山城博治(沖縄平和運動センター顧問)

「共同テーブル」はこれから多彩なテーマとパネリストで、連続シンポを企画していきます
共同テーブル HP に、賛同申し込み書式があります。それに記入していただければご案内をメールでさしあげます。